

【閉会の挨拶】 高田 喜久司（上越教育大学理事兼副学長）

本当に熱意のあるディスカッションをしていただきました。教員養成大学における質保証，大学と地域の協働による教員養成ということで，非常に活発なご意見をいただきました。大変ありがとうございました。

さて，今日を振り返りたいと思います。基調講演，いかがでしたでしょうか。あの山極先生の情熱的な語り，これがまず今日の議論を活発化した導火線になったのではないかと思っております。お高い立場からの学力を高めるための四要素，こういうようなものについて私は非常に関心をもった次第でございます。

それから上越教育大学の取組はいかがでしたでしょうか。私は最初のところでちょっと概要を説明したわけですが，全体を通すとそれよりもかなり充実発展した姿が今日の発表にはあったのではないかと思えました。

それから泉先生からは，ルーブリックを活用しての実際とそれから課題をご提示いただきました。大変どうもありがとうございました。

それから及川君の堂々とした態度と内容のすばらしさに感服した次第でございます。

シンポジウムでは濁川先生からは上越教育大学への期待というので4項目，これ頭の痛いところではありますが，これはクリアしなければならぬ。4項目の4項目目にまた7項目があったわけでありまして。この11項目をどう実質化していくかが宿題になっているなど思いました。

それから越智先生からは「研究アリーナ」ということですね。この中身，カンファレンスとどうなのかなということ，専門性の重要さ，臨床の中身を学ばせていただきました。

今尾先生のほうからは「サービスマーケティング」の実態と効果等についてご指摘いただきまして大変どうもありがとうございました。

これは先ほど小林先生がおまとめになったわけですが，これからは学内にどう浸透させるかということが大きな課題であるわけでございます。

そんな課題を抱えながらも，熱意あふれるシンポジウムになったのではないかということでお礼を申し上げ，最後の挨拶に代えさせていただきます。本日はありがとうございました。